

平成 30 年度「桑名市民満足度調査」結果概要

1. 調査の概要

調査期間 : 平成 30 年 6 月 15 日～7 月 9 日

調査方法 : 郵送による配布・回収

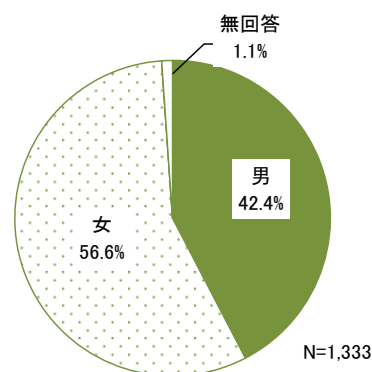
調査対象 : 市内在住の 15 歳以上の市民 3,500 人（無作為抽出）

有効回答数 : 1,333 件 有効回収率 : 38.1%

※集計においては小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。

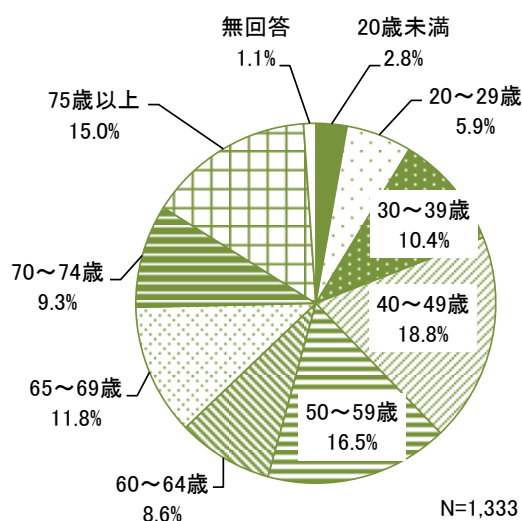
2. 回答者の属性

性別	男性	女性	無回答
N=1,333	565 42.4%	754 56.6%	14 1.1%



回答者の性別は、「男性」が 42.4%、「女性」が 56.6%となっています。

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
N=1,333	37 2.8%	78 5.9%	139 10.4%	250 18.8%	220 16.5%	114 8.6%	157 11.8%	124 9.3%	200 15.0%	14 1.1%



年齢は、「40～49歳」が 18.8%で最も高く、次いで「50～59歳」（16.5%）、「75歳以上」（15.0%）、「65～69歳」（11.8%）の順で高くなっています。

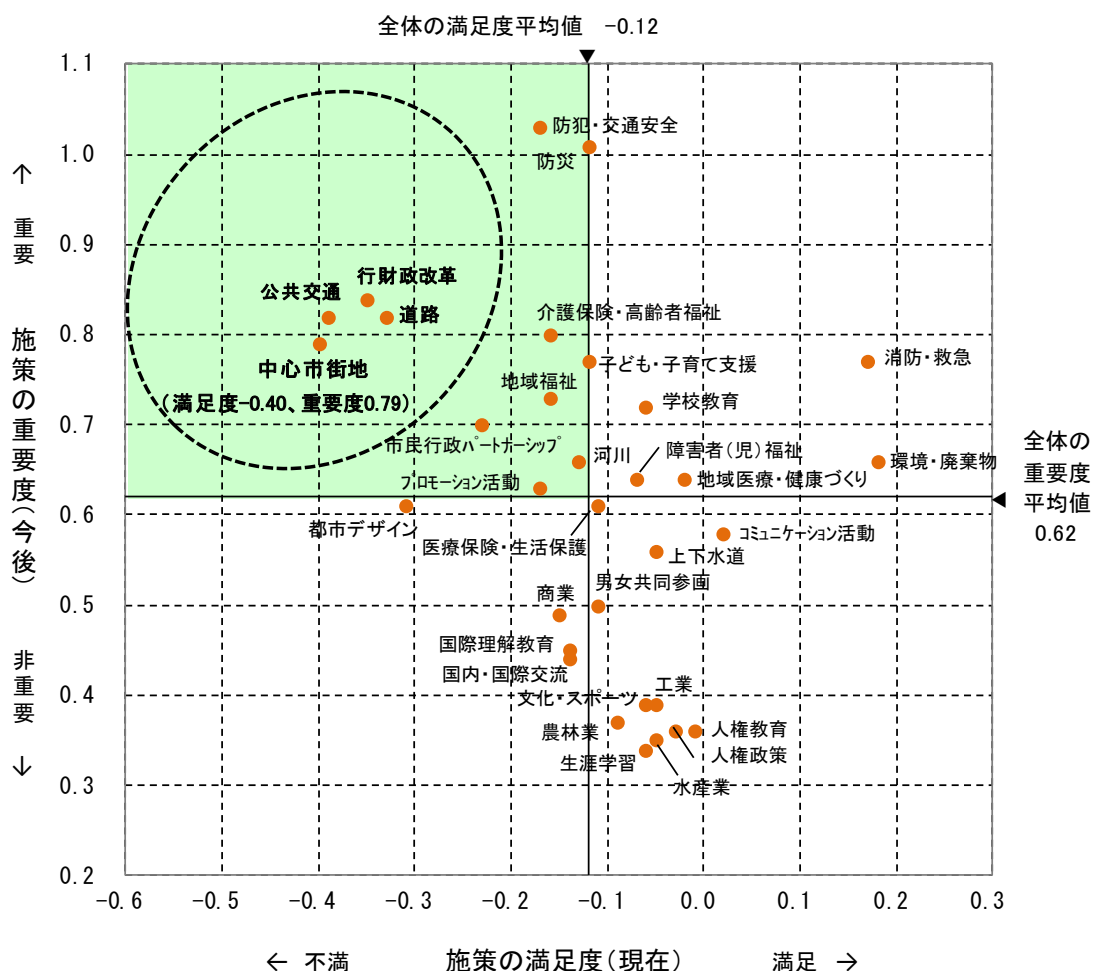
3. 結果概要

『32 項目の施策分野（基本計画）』の「満足度」と「重要度」の〈順位比較〉

施策分野ごとの「満足度」について『不満』という回答が多かった順に、「重要度」で『重要』と回答した率をみると、「公共交通」、「中心市街地」、「道路」の3施策については、特に不満度が高く、重要度が高い状態にあることから、今後重点的な対策が必要な施策であることを示しています。

〈不満の多い上位 5 項目の施策に見る重要度〉	不満度		重要度	
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)
公共交通（電車、バス等）	1	36.9	4	55.5
中心市街地（整備）	2	36.0	3	55.9
道路（整備）	3	32.5	5	55.3
行財政改革	4	28.3	7	52.9
都市デザイン（都市計画）	5	26.9	15	44.8

『32 項目の施策分野（基本計画）』の「満足度」と「重要度」の〈平均値 分布図〉



施策の満足度を横軸、重要度を縦軸として座標に表すと、満足度が低く重要度が高い領域（優先度が高い領域：上図の左上の網掛け部分）にある項目が、特に今後重点的に取り組むべき施策分野であることを示しています。今回の調査結果では、「行財政改革」「中心市街地」「道路」「公共交通」などが該当しています。